

令和6年度 吉岡小の教育

学校教育目標 **心豊かで 実践力のある子 笑顔いっぱい吉岡小 ～やってみよう！～**
「いじめがなく、よく学び、元気に活動できる」児童の育成

経営の方針

- (1) いじめがなく、互いを認め合える心豊かな児童を育てる学校。
- (2) わかる（できる）喜びを実感できる児童を育てる学校。
- (3) 強い心と強い体をもち、元気に活動できる児童を育てる学校。
- (4) 教職員の業務改善に努め、誇りとゆとりをもって働ける学校。
- (5) 保護者にとって安心して子供を預けられる学校。
- (6) 地域に愛される学校。

【めざす児童像】

- ◎よく考える子ども……よ
- ◎心身共に健康な子ども……し
- ◎思いやりのある子ども……お
- ◎感性の豊かな子ども……か

【めざす教師像】

- ◎目の前に子どもに正対し、子どもの人格成長に全力を尽くす
- ◎子どもの心に寄り添い、児童の可能性を引き出し、伸ばすことができる
- ◎積極・進取の気概を持ち、研究と修養に努める
- ◎人間関係を大切にし、お互いを認め合い、児童・保護者・地域・同僚と連携できる

絶対にいじめをしない子



○ 一人一人の個性を尊重し合うインクルーシブ教育の推進

- ・「個別的教育支援計画」及び「個別的教育指導計画」を活用し、個々の教育的ニーズに応じた指導・支援を充実させる
- ・いじめの早期発見・早期対応のため、組織的な対応や教育相談体制の充実を図る

○ 学校と家庭の連携を生かした、規範意識と自己肯定感の醸成

- ・家庭と有効な関係を築き、差別や虐待など不当な養育から守ることで豊かな心を育成する

○ 学校生活の全ての場所における道徳教育及び命の教育の推進

- ・「道徳教育の手引き」や映像資料及び読み物教材を効果的に活用する
- ・「いのちを大切にするキャンペーン」等を通じて話し合いや標語等の作成を行い、児童自らがいじめに関する問題を主体的に考えられるようにする

向上心をもって学び合う子

○ 「わかる（できるようになる）授業」の実践

- ・多様な学習形態、少人数指導、教科担任制を導入
- ・ICTを効果的に活用し学びの質を高める

○ 主体的・対話的な学びによる思考力及び表現力の育成

- ・「『思考し、表現する力』を高める実践プログラム」及び授業実践資料等を活用し授業改善を図る

○ 基礎基本の定着をめざしたドリルタイムの充実

○ 体験学習等の推進

- ・「総合的な学習（探究）の時間」の充実を図ると共に自然体験等の体験活動を推進する

○ 地域を生かした教育活動

- ・地域人材を活用してキャリア教育を推進する

明るく元気な子

○ 教科体育の充実と外遊びの推進

- ・校内実技研修や理論研修を通して指導力を向上させる
- ・異学年交流等集団遊びを通して心身の健康を育む

○ 学校と家庭の連携を生かした健康教育と食育の推進

- ・保護者等と呼びかけ、自律的に生活を管理する力を育成する
- ・「早寝・早起き・朝ごはん」運動を推進し、基本的生活習慣を確立させる
- ・不登校児童とその家庭に寄り添い、別室登校等の環境を整えることで学校復帰をめざす

○ 地域とのかかわりを生かした社会性の育成

- ・「学校を核とした県内1000か所ミニ集会」等を通して家庭・地域の教育力を高める